大正十年四月二十二日第三種郵便物認可　昭和四年十二月五日　磐城新聞　〔木曜日〕　第二千七百一號　（一）

（四日夕刊）

磐城新聞

休刊 毎月第一第三日曜
定價〔壹ヶ月壹圓二錢、五十錢、郵税十錢〕
廣告料〔一行平均 指定廿錢増〕
發行兼編輯印刷人 運沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六番

鳥類說話

佐々木喜善

陸奥の八戸にゐる盲女の巫女のオシラ神遊びの呪文のうちから近頃發見したものに、鳥族の色々に關係した說話があつたといふことが言ひ傳ひられた。

現在の吾々の知つてゐる範圍におけるオシラ神の緣起由來談としては、唯一つ彼の誰でも分つてゐる馬と人の間娘との婚姿譚であるけれども、この譚が斯くま整理されるまでには他にも種々色々なる物（動物）に對しての靈感的な語り物或ひはウタとモノが行はれてゐたといふ說である。この種のウタとモノは巫女が諸々の靈魂を除ろしをする際に、特に長々と語られたものが遠野附近にもあつたが十數人の町の巫女どもの中に今ではやつと一人位の外には知つてゐないものださうである。その名前をばアカツキヨセとか言つたやうに自分は記憶してゐるが、これは自分の聞き違ひして別の名であつたかも知れぬ兎に角私の記憶にしてあやまりが無くば、全く彼のアイヌの（一）神謠の如くに色々な鳥獸が來てその動作を歌ふやうであつた。否その色々鳥獸の元の姿を、弓の弦に乘せて謠ふのでもあつた。

（註）アイヌの神謠の如く鳥獸其物等が出て來て各々その生立ちや所作を歌ふのは、別にマヒコといふものがあつた。これには鯰、蛙、螢蝶等があつた。

八丈島の俗謠に、かういふものがあつた。

たらがたせどは
極樂におじやる……
べんぎよして給べ
時鳥——

五月ぐもりの空を、高くするどく啼きつゝ飛びすぎる時鳥の鳥を見て、斯ういふ感じを起したのは獨り八丈島の婦人ばかりではなかつた。吾々の祖先が鳥の啼き聲やその姿態から、その空に飛ぶといふことから、常に彼等に對して幽界のことを想像し靈魂ではなかつたかと思ひ、鳩のほろ〜と啼く、その聲に、わが父かと思ひ母かと想念したことが、少し憂鬱な人の心には起り勝ちであつた當然の思ひであつたらうと思ふ。これは勿論獨り日本ばかりのことではないのである。

そこでこれから少々奥州地方の民間に行はれてゐる譚をして見やうと思ふのである。

時鳥と郭公鳥

昔の事であるが或る處に姉妹があつた、或る日一緒に山へ行つて土芋コ掘りをして、それを燒いてたべた妹思ひの姉は、自分は燒け焦げてかたくなつたガンコ（上皮の堅くなつたところ）だけをたべて、妹には柔かなうまいところを、よつてたべさした。

ところが妹はこんなうまい土芋だもの、姉は自分でどんなにいゝところをたべてゐることかと思つて、傍らにあつた庖丁でもつて姉の腹を斬り割つて見た。すると姉のたべたのは皆堅いガンコだけであつたことがわかつた。

明日の暦 舊十一月一日

▲一白の人 目上にはよくどゝ左右の折合は惡しき日▲二黑の人 先を見枯らさず足元に注意してはげむべし▲三碧の人 働きを目上に認めらるゝ日奮闘一番宜しき▲四綠の人 動けば動く程深みに搖り陷る日注意▲五黄の人 派氣よし成り樣で實務の十分ならざる日▲六白の人 賭ひ、違ひより意外の口舌を惹起すことあり▲七赤の人 姑息の手段を取らず一意誠を以てすべき日▲八白の人 山氣は破れ〜招くもと本業大切に守るべし▲九紫の人 名小ハ面倒はありともほ進みてよき日

講談 幕末奇傑 高山彦九郎

(13) 中西洋々作 布施長春畫

佐吉一家（六）

「これは僅かだが、納めて置いて貰ひたい」

やがて、彦九郎は、さう言つて師に捧ぐべくもつてゐた謝禮金のすべてを差し出しました。

「いゝえ、滅相もない、こんな大金を頂きまして……」

「いゝや、さうではない、これは、わしの心なのだから、どうか納めて置いて下され」

彦九郎は、しきりに辭退する佐吉に、無理にその金を納めさせました。

「た坊ちやまにこんなことして頂きまして……」

「いや、なにも改まつた禮を云ふべき程のことでもないのだから……」

心から、よいことをしたと思ひ乍ら彦九郎は云ひました。

「それは、さうと醫者には見てもらつて居るのかな」

「は、ヽい」

佐吉は、見えないようにそうつと眼を拭つて。

「實は、お醫者樣は唯一度、それも、ほんのちよつとだけ見舞ひ下すつたきりで……」

おとは言葉なくうつむくのでした。

「ふむ、それから後はどうしたのかな」

「その後は、幾度か願ひに出ましても、お見舞下さらぬのでごせえます。お藥は十日程下されて、後は鳥目持つてくるでなくば、一服もやることならぬとの仰せでごせえます」

「それは言語同斷」

彦九郎はきつとなつて云ひました。

「醫は仁をもつて立つといふに、そなた家の貧しいと見て、見舞ひにも來ず、投藥もせぬとは、醫業の風上にも置けぬ奴、一體、其者の名は何といふのぢや……」

「伊勢崎の松井先生でごせえます」

「うーむ。松井正庵といふか」

彦九郎の惡を憎む心は、また勃然として起つて來ました。

松井正庵といへば、聞ねた名醫、町醫ながら、立派玄關構への屋敷にこもつて豪奢な生活、いつも伊勢崎の師の家へ行く途中通りかゝるのですが、彼にかうした非人の行ひがあらうとは、少しも知りませんでした邪惡非人を憎むこと人一倍彦九郎は、どうかして醫業の本分を說ききかせてやりたいと思ひました。

「よし〜、わしがいゝよう計らつてやる。必ず心配せず、待つて居るがよい……」

かう云ひ置いて、彦九郎は、佐吉の家をあとにしました。

その彦九郎の後姿を、佐吉が家の物蔭に身をひそめて、涙にうるんだ瞳で、ぢいつと見送つてゐる男がありました、彼は類へならず改心した、無頼の徒、細谷村の甚作でした。

甚作は年少の彦九郎の致訓に、ふつつり心を改めました、さうして惡に強い心は、また善にも強いものです、前非を悔ゆる心は、急速に彼の心をさいなみました、その時かぎり、折かんの火箸もつた手に鍬をもち田に出て働いたのでした。

が、仁を知らぬ醫者松井正庵を招くには、多額の鳥目が必要でした。さりとて今日心をいれかへたばかりの彼に、一文のたくはえのあらう筈がありません、日々毎日、賭博に飲酒に、女房にさせが、苦心の金も、一文餘さず、使ひ果して來た甚作でしたから。

辛じて得た鳥目で、幾干かの米を買ひ求め、お光に與へましたが、佐吉の病態が心にかゝつてなりません細谷の家から、百々村の佐吉の家まで、わざ〜出かけて來た甚作は、そこに、親切に見舞つてゐた彦九郎を見出したのです。

この人のこの美しい心情に、甚作は、感激の涙を新たにしました。

と同時に、益々善に向ふ心を誓つたのでした。

夜間診療

胃腸 内科 十二指腸虫病 專門 内科部

[illegible] 淋病 [illegible] 皮膚病 專門 外科部

松村胃腸病科醫院 （平町電話一〇七番）

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ 生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二 西村屋藥舖 たはなし 三番

清酒 醸造元 世界吉
銘酒 各炭鑛御用達
石城小名濱町 清水屋 小野晉平 電話六番

世界各國特許新形掛時計
文字三ツデ時間ヲ表示スル
一分間表示正確無比
ニユークロツク、諸會社病院學校商店向キ蓄荷
政シヤタ、是非御買上ヲ願マス
貴金屬 時計 眼鏡 蓄音機
平町五丁目 金光堂時計店 電話七三六
時計蓄音機修理大勉强

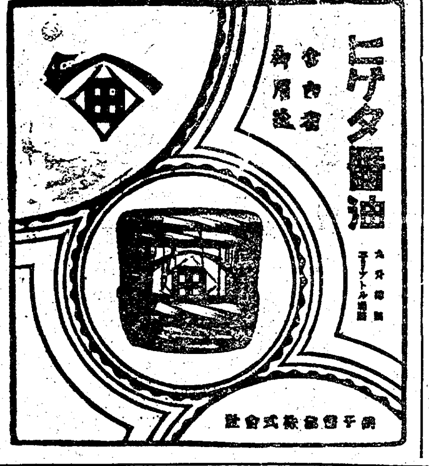
平町紺屋町 吉田眼科醫院

貸切自動車の御用命は
高級車で乘心地の好い
昭和タクシーへ
昭和タクシー 平驛前
電話は三四三番 サシミ

共濟病院 各科專門
耳鼻咽喉科 醫學士 井上俊次郎 醫學博士 渡部貞助
産婦人科 醫學博士 松枝茂
外科 醫學士 氏家憲介 醫學博士 桂重次
内科 醫學博士 難波睦 醫學博士 中西林藏
×光線 醫學博士 難波睦 技師 工藤慶造
衛生試驗所 醫學博士 中西林藏 技師 小熊英夫
藥局 藥劑師 吉本孝平
本院醫事法制囑託 法學士 岡蕃
本院主管 賀澤忠治

一衛生試驗所
一病氣相談所
一救療所 （共濟病院内）
共濟病院は皆さんの病院であります御氣付のことは御注意を願へます

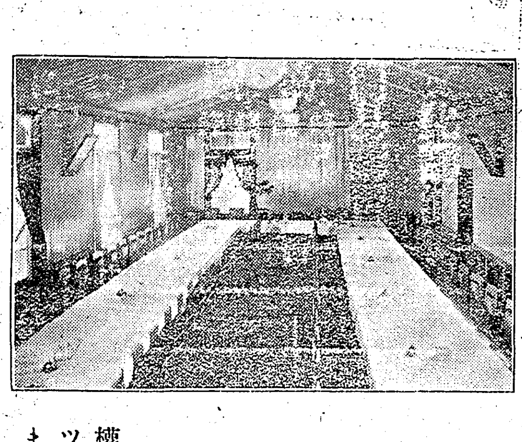
磐城 共濟病院
看護婦見習募集 平町電話六四一番



特約店 平町田町 廣瀬支店 電話五四番

七五三祝着の賣出し

七五三の御用意はツルヤへ！
可愛らしい子供服
オーバー 四圓五十錢ヨリ
マント 二圓五十錢ヨリ
毛糸エリマキ 六十錢ヨリ
毛シヤツ 五十錢ヨリ
子供帽子
箱迫
レース付服エプロン 二十八錢
その他皆樣の御氣に召します樣
新しい品を取揃へました
平町四丁目 ツルヤ 電一四〇



結婚披露會
諸歡送迎會
「時代は緊縮」
大宴會を
一圓會に願ひます
〔銘酒白馬の雪一本
高級料理三品附〕
權威ある帝都一流のコツクの調理を誇こ致します
平町南町 丸昇軒食堂

醫藥學大家實驗證明せる
腎臓病
新藥 ネオネフロン
急性及び慢性腎臓炎に服用して最も優秀なる効果顯著なり
價格 一圓五十錢、參圓、五圓
代理店 平町五丁目角 山野邊藥局 藥劑師 山野邊東次郎

平町紺屋町 藤沼醫院 電話五〇七番

耳、鼻、咽喉科 合津醫院 平町仲田町七一（電話五五九）

悉く失敗に終つた 愛谷堰の工事
今度は鶯水門丗間 當局の愚策批難

石城郡好間村大字愛谷地内の夏井川より分流して平町外三ケ村の水田へ灌漑してゐる愛谷江筋は先に縣耕地課の五ケ年繼續事業として愛谷堰改築と共に同江筋護岸工事を施行され既に愛谷堰と同村川中子間並びに好間川地下のサイホン工事は竣工したが竣工僅かに六ケ月を經過した昨年五月同村關の上地内のコンクリート護岸工事が約三十間位宛二箇所も欠潰して問題とされ縣當局は非常に狼狽した事既報したがその後同江筋の護岸工事は數ケ所に龜裂或は欠潰を生じて現在は殆ど通水の用をなさゞるまでに至つてをり假に通水するとなれば汎濫して附近の畑は全部浸水する様な始末に關係農民は全く不誠意極まる縣當局の工事を非難してゐるが去る二十六日朝の豪雨で愛谷地内の同江筋より夏井川へ非常排水のために設けられた俗稱鶯水門の高さ十尺以上の間知石護岸箇所が之又約三十間崩壞し同時に附近の畑約十坪も川底へ崩れ落ちたので關係部民は對策を講じてゐるが同護岸工事はことごとく失敗に終つてゐるので當然今度の縣會では大問題が持ち上るものと傳へられてをる

平三坂街道 改修の陳情書

平、三坂間の縣道改修方については一昨年來關係村民から縣に陳情して來たが未だ其實現を見ないので三日更に石城郡澤渡村民連署にて之が促進方を縣に陳情書を提出してきた

湖月の鈴木氏が 家賃三割値下
敷金は皆返却して 自發的の大英斷

平町地方に於ける家賃値下げ問題が漸次其の聲を上げ初めた折柄、各地の情勢に鑑みた新田町湖月主人鈴木千代吉氏は昨日自己所有、貸家全部に對し本月より三割値下の大英斷を爲しその上敷金全部を即時返濟したので、借家一同は非常に感謝して居る店子主人たる湊遊亭では語る

實に助かります、丁度拾圓の値下げになる譯で、それに敷金も全部返して下さいました、不景氣の時節でこれに暮近いので一増助かつた譯です。

私の貯畜法
平町 眞木三郎

資産を持たずに薄給から恒産をつくるといふことは單なる出來心で出來るものではなく、そこには固い信念と準備時代が必要とされるのであります。殊に學校を出てどこかの會社や役所に勤められる大抵の人は今までの生活環境と違つた雰圍氣を經驗され

今迄の生活以上の支出が、その收支をつぐなはせぬことを感せられます私のた話しだいことは一定の收入によつて生活せねばならぬサラリーマンがどうしたら金が貯へることが出來るかといふことであります。それでまづ最初どんな小さな處からでも本をこしらへだん／＼大きくすることに心掛けることが大切であります。勿論最初は月給そのものから貯めることは現在の物價指數と俸給高あるひは家族などの關係から困難でせうから私の平素の考へで申します。どんな場合でもボーナスには絶對に手をつけぬといふことにして、これをまとめて貯金することであります。多くの人はボーナスが入ると思ひがけないまうけ物やうに考へて、洋服を買つたりあるひはドンチャン騒ぎに費消してしまふ傾きがあります、それでは絶對に金のたまることはありません。同時に

平素の生活も必ず月給の範圍内でやるといふことが肝腎であります。そして如何なる場合でも一文も借金をせぬといふ考へを持つてすべて買物は現金にするやうに努めねばなりません。よくある例ですが、通帳で物を取るために毎月借金が滯つて後月廻しになることがありますが、これは値段を掛かずに極めて放慢な遣り方で消費するからです。處が現金買ひにすると常に現品と懐勘定と相談しますから、決して無理をすることがありません、即ち懐具合で買物を制するからであります。また貯蓄心を旺盛にするための私の持論は財産收入に比して如何に自分等の提供してゐる勞力に對する收入が少くて心細いものであるかといふことを考へることです。この勞力收入が少くて心細いといふことはその反面に如何に尊いものであるかを知らせます。また

人間にとつてはいつどんな災難が不時の出費を餘儀なくさせるかを考へると全く恒産のないことはさびしいことです。勿論自分の不幸に對しては決してその友人や近親達は見捨てることはないでせう。しかし、それ等の同情は決して名譽に値するものではありません。で私は前に述べました三つの條件から、將來自分は何かせねばならぬといふ考へを以て貯蓄することが私達サラリーマンにとつては最も必要なことであると考へます。

馬車改正に 組合反對
各產馬組合で

内務省令道路取締規則に基き實施することになつてゐた馬車輛の改正については既報の如く從來各府縣その實施を猶豫されてゐたが猶豫期限が今年を以て滿了明年一月一日からいよ／＼實施されることになつた然し縣の事情によつてはこれを緩和し得る條件が附されてゐるので本縣でもこれが實施如何については目下考慮中であるが現在の馬車輛二寸を三寸以上に改めるもので從つて本縣には六千四百臺の馬車があるため若しこれを改めるとすれば一臺三十圓を要することゝなり不況の折柄當業者の死活問題を惹起する結果を招來するので縣下の荷馬車組合では大に狼狽してゐるので本縣產馬組合會では近く縣に實施見合せ方を陳情をすることになつた

四倉港期成同盟 會長の選任難
新妻面川氏辭任で けふ善後策協議

石城郡四倉町の死活問題として擧町一致の猛運動を續けてゐる漁港修築速進運動の別動隊なる築港期成同盟會長は新妻氏の辭退により面川龜之助氏後を繼いで會長となり今に至つたが同氏も町議改選後委員となり專屬的運動にたづさはる爲となり辭退したため之が補充のため一日午後六時から同盟會の役員會を同町漁業組合樓上に開催したが農繁の結果か出席者尠く遂に開會出來ず四日再會する事とし散會したが擧町一致の眞劍味を以て運動を續行しつゝあるに中途に於て町當局者及び委員等が運動上え弛みを生ずるが如き事ありては堪へざる處であると町民は憂慮して居る

平警察署の 移廳祝賀會 七日擧行する

平警察署移廳祝賀式は平消防組が主催となり擧行することに決定してゐたが永らく眼疾のため荒井署長が缺勤し種々の都合から延期されてゐた處二日全快歸廳したので協議の結果いよ／＼七日午前十時から同署において同町各官衙長を初め各町村長郡内有力者等三百名を招待し時節柄質素な移廳式を擧行し次いで聚樂館に於て火防宣傳活動寫眞會と合せて簡單なる祝宴を開催する筈である

四倉の陪審院

四倉町陪審員候補者は抽籤の結果本町荒川善太郎、仲町根本金七、小港平次郎、新町佐藤禎一の四氏當選した

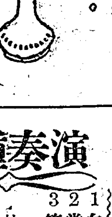
霜の身元調べ
蕪村の唄やその他

白露や茨の刺に一つづゝ（蕪村）秋の末になつて初冬の今日この頃の朝々、たくつゆも氷つやうに白くつめたくなつて、冷たい鋭い感のを見るやうな心持を感ずるでせう、そこで、その露がどうして霜になるか、みなさんはご存じですか今日は一つその『霜』に就て話いたしませう。

朝はやく起きて、雪がふつたやうに、お庭や道にまつ白な霜が降りてゐるときには、その前の夜は必ず靜かなそして晴れ渡つてゐた夜です、雨がふつたり風がふいたり、又は雲つてゐるのです、それならばなぜ靜かな夜にかぎつて霜がおりるのでせう？晴れた風のない夜は土の上や木の葉、屋根などは大へんつめたくなり、よく攝氏零度あるひは、それよりもはるかにつめたくなることがありますさうすると土地や木の葉の周圍にある空氣も、自然とつめたくなり零度あるひはそれ以下になります。

みなさんは攝氏の零度になると水は氷になることをご存じでせう空氣中には水蒸氣となつて、目に見えない水がたくさん含まれてゐます、この水蒸氣がすぐこまかい氷となつて、土や木の葉の上にしくのが霜の正体なのです、しかしみなさんが見る白い霜にも二種類あることを知つてゐなければなりません、前に述べたやうに、空氣中の水蒸氣がすぐ氷となつて白くしく霜と、もう一つは空氣中の水蒸氣が一たんかたまつて露となり、その露が寒さの爲めに氷となつて、白く土や木の葉の上におりるものがあります。

目で見たのでは、この二種類の露の見分けは少しもつきませんが、檢微鏡で見ると水蒸氣からすぐ霜になつたものは、針のやうな美しい結晶ができてゐますが露から霜になつたものだと粒狀の結晶が澤山ならんでゐるだけです。霜柱といつて、寒い朝などは、よく土をむくりと持ちあげて、一寸も二寸もある、氷の柱みたいなものが、出來てゐるのを見たことがありませうか、霜柱といふから、霜が降りて出來るのだと思つたら大違ひです。これは霜柱といひますがしもとはなんの關係もなく寒さのため土のなかにある水分か氷となつて柱ができるものです、秋のしもでは、農家は、大ていとりいれがすんだ後ですから、あまり大きな害はうけませんが、春のしもでは、桑の芽や、野菜の芽がくさり、大へんな被害をうけることがあります。



磐中を來春出る 生徒の希望調べ
高等師範へ三十八名 何れも職業的に

磐城中學校を明年三月巢立つ若人は約二百名であるが其の中去る十一月中旬〆切つた東京廣島兩高等師範學校に願書を出した者は三十八名と云ふ恐しい數でこれを前年に較べて見ると約二倍であるが此の增加は唯磐中のみでない東京高等師範學校以來の大增加で數學英文科の如き二十五人に一人の割合である又從來容易であると云はれた体育科の如きも六七人に一人の割合である

俳優志願の學生が 劇藥自殺
東京荒川の放水路で 平町の草野操君

平町才槌小路質屋業草野廣吉氏三男草野操（二三）は磐中卒業後明大に學び將來は俳優になるなどと希望を漏らしてゐたが去月三十日午後一時頃東京府下南足立郡江北村荒川放水路沿岸に於て劇藥自殺をなしてゐたのを翌朝發見死体は郷里平町の親元に引取られたが原因は失戀の結果であると

植田署の 模範使丁 蛭田翁長逝す

石城郡植田警察署使丁蛭田龜次翁は明治卅八年時の署長佐藤定直氏より仕へ十五代廿五ヶ年間勤續し去る九月中病氣退職せるものであるが一日午前八時藥石効なく逝去した翁は同署使丁としては十年一日の如く終始仕へ模範使丁として且つは菊田會等より永年勤續者として表彰されし人で本年六十七歳二日同町常春院に盛大なる葬儀を擧行せるが田口植田署長、坂本植田組頭等ノ弔辭及山崎錦、油座田人等ノ消防組頭等會葬せられ頗る盛葬であつた

木村代議士 きのふ視察談

四倉町小學校では今回歐米視察を終り歸朝せる木村代議士を招し視察談の講演を三日午前九時より開き引續き午後二時より海盛座に於て官民四倉大野大浦有志三百餘名の歡迎會を開き約三時間に亘り視察談の有益なる講演あり午後五時散會せり

稻作品評會 七日褒狀授與

平町外八ケ村稻作品評會賞狀授與式は七日午後一時より平町役場内議事堂に於て擧行すると

神谷農品評

神谷村主催農産物品評會は平町其他中塩村好間村と聯合して來る十日十一日の兩日神谷村補習學校に於て開催する筈

入遠野消防 秋季檢閲を執行

石城郡入遠野消防組秋期檢閲は一日朝來より降雨のため悩まされ午前十時より同村小學校庭に集合、人員服装機械器具の檢閲、規律訓練等あつて田口署長の訓辭講評、小澤組頭の答辭あつて分列式に移り午後四時解散されたが同村消防組は青年團、處女會、在郷軍人會等と協力し同村小學校に奉安庫建設寄贈する筈、組員は勞力奉仕されつゝある本月中にこれを期として非常召集を行ふと

平町の五年度 就學兒童數 男女七百人

平町の五年度就學兒童總數は男三百四十八女三百七十三人でこれを學校別にすれば第一男二百五十七人第二女二百七十七人第三男八十一人女九十六人で昨年の六百四十九人に比較し六十四人の增加を示してゐる

勿來養鷄組合で 八千五百羽を突破
組合外の分譲を目的に 孵卵器を擴張

勿來町養鷄組合では去年ゝ育雛成績が豫想以上良好で組合員中に分譲せる雛のみで一千羽以上に達しくゐるが更に各方面より期待以上の實状から分譲申込殺到し平町より六千羽附近町村より五百羽茨城縣多賀郡より一千羽都合九千五百羽の組合外の注文があつた有様で實に八千五百羽餘の育雛をなしてをり三臺の孵卵器にからうじて間に合せてゐたが養鷄熱はまさに石城郡一般に高まりつゝあり極めし熱心な理解ある人にして雛の配給を得なかつたものさへ相當にあるのでこれ等の人には氣の毒である處から設備を擴大して申込に

稚蠶飼育場 勿來に二個所
組合組織で設立

勿來町では縣下に率先して稚蠶飼育組合を設置し來春から行ふべく一切の準備をとゝのへつゝあり一般の期待を受けてゐる折柄この程これが向ふを張つて町議青天目信治郎櫛田龜吉氏等を中心に今度は窪田稚蠶飼育場組合を設立することゝなり低利資金を借入れ十月卅日落小學校舎一棟を六百十五圓で一瀉千里的に着手中で片倉製絲會社が後援として組合員には相當の利便がある可く資金銷却並に飼育手數料は春秋晩秋の三期に適宜收繭を以て充當する筈で頗る時代的な方法で將來は土地も拂下る豫定で非常に注目されてゐるが目下組合員は二十二名組合長は櫛田龜吉氏顧問青大目信治郎氏に決した

五日ヨリ上映プログラム
御熱望に依り天下の名篇の再上映
ごジャズ園の續演
最終熱演 サンライトジャズバンド
NK大日活超々大作映畫
維新の京洛
原案橫田永之助氏・總指揮池永浩久氏
脚色監督……池田富保氏
山本嘉一・大河內傳次郎・河部五郎・澤田清
新妻四郎・酒井米子・伏見直江・梅村容子・其他
オールスターキャスト 新舊全員

演奏種目
1 白帆　2 當世銀座節　3 笑ひ藥　4 青い芒　5 木曾節　6 セーラーダンス
特別和洋大演奏
7 勸進帳
サンライトジャズバン合奏
ド園・當館專屬部員

料金普通
日活 平館 松竹

松竹キネマ超特作
原作……北村小松・監督……池田義信
主演 栗島すみ子
希望
眠れよ吾子小羊も小鳥も憩へひ庭も牧場も沈獸れよ小降の囀きすら洩れず
獨唱 東京子孃

木村代議士 歸朝歡迎會
一、日時 十二月八日午後一時
一、場所 有聲座
一、會費 五十錢
右の如く開催いたします、何卒振つて御出席を乞ふ
發起者一同

內科診療
消化器病科 呼吸器病科
小兒內科 一般內科
入院應需（自炊ノ便アリ）
平町鼠坂
渡邊內科醫院
電話二六一番

外科
一般外科 泌尿科 婦人科
醫學士 海津俊一
X光線科
院長 木下寅一
新妻由五郎
赤心堂病院
平町田町電四七五